

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年8月23日 (2018.8.23)

【公表番号】特表2017-531042(P2017-531042A)

【公表日】平成29年10月19日 (2017.10.19)

【年通号数】公開・登録公報2017-040

【出願番号】特願2017-539508(P2017-539508)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/415 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/415

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 25/04

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月12日 (2018.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

哺乳動物における変形性関節疾患または病態に関連する疼痛および炎症の治療において、1 ~ 6 m g / 体重 k g の維持週間投与計画で 化合物 E - 6 0 8 7 を使用するための、化合物 E - 6 0 8 7 を含んでなる組成物。

【請求項 2】

維持週間投与計画が 1 . 5 ~ 4 . 5 m g / 体重 k g である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

維持週間投与計画が 4 m g / 体重 k g または 2 m g / 体重 k g である、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記使用が初期負荷用量を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記負荷用量が約 2 ~ 12 m g / 体重 k g、好ましくは約 3 . 5 ~ 9 m g / 体重 k g である、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記負荷用量が 8 m g / 体重 k g である、請求項 4 または 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

8 m g / 体重 k g の負荷用量が、8 m g / 体重 k g の 1 用量または 4 m g / 体重 k g の 2 用量からなる、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記負荷用量が 4 m g / 体重 k g である、請求項 4 または 5 に記載の組成物。

【請求項 9】

4 m g / 体重 k g の負荷用量が、4 m g / 体重 k g の 1 用量または 2 m g / 体重 k g の 2 用量からなる、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記負荷用量が 8 m g / 体重 k g であり、週間投与計画が 4 m g / 体重 k g である、請求項 6 または 7 に記載の組成物。

【請求項 1 1】

前記負荷用量が 4 m g / 体重 k g であり、週間投与計画が 2 m g / 体重 k g である、請求項 8 または 9 に記載の組成物。

【請求項 1 2】

変形性関節疾患または病態が関節炎関連疾患または病態であり、好ましくは、前記疾患が骨関節炎であり、または前記病態が跛行である、請求項 1 ~ 1 1 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 3】

哺乳動物における変形性関節疾患または病態に関連する慢性の疼痛および炎症の治療のための、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 4】

哺乳動物における変形性関節疾患または病態に関連する急性 ~ 慢性の疼痛および炎症の治療のための、請求項 1 ~ 1 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 5】

哺乳動物がイヌである、請求項 1 ~ 1 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 6】

化合物 E - 6 0 8 7 と少なくとも 1 種類の薬学上許容可能な賦形剤とを含んでなる組成物であって、1 ~ 6 m g / k g の維持週間投与計画で化合物 E - 6 0 8 7 を使用するための、組成物。

【請求項 1 7】

非ヒト哺乳動物における変形性関節疾患または病態に関連する疼痛および炎症を治療する方法であって、1 ~ 6 m g / 体重 k g の維持週間投与計画に従って化合物 E - 6 0 8 7 を前記非ヒト哺乳動物に投与することを含んでなる、方法。